



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 ダイtron株式会社

コード番号 7609 URL <https://www.daitron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前 績行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 毛利 肇 TEL (06) 6399-5041

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	45,357	6.4	2,034	△17.5	2,022	△19.8	1,320	△24.8
2018年12月期第3四半期	42,632	11.4	2,465	22.0	2,520	22.9	1,755	23.0

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 1,403百万円 (△17.8%) 2018年12月期第3四半期 1,708百万円 (7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	119.05	-
2018年12月期第3四半期	158.39	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	41,010	17,718	43.2	1,597.45
2018年12月期	43,114	16,977	39.4	1,530.94

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 17,715百万円 2018年12月期 16,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	-	20.00	-	35.00	55.00
2019年12月期	-	25.00	-	-	-
2019年12月期（予想）	-	-	-	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	4.8	2,700	△23.9	2,750	△23.5	1,910	△16.0	172.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	11,155,979株	2018年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	66,050株	2018年12月期	68,719株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	11,088,206株	2018年12月期3Q	11,082,617株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料に関しては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

（日付の表示方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は底堅く推移したものの、内需に弱さがみられ、景気の減速感が強くなってきております。世界経済につきましては、米中貿易摩擦の長期化や中東における地政学的リスク、日韓関係悪化の影響等が懸念され、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界につきましては、国内外で自動車の電装化や生産現場の自動化に伴う産業用ロボットの導入など、様々な場面で電子機器・部品や生産設備の需要は底堅く推移しましたが、前述の世界経済の影響により生産動向は不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、「第9次中期経営計画（2017年～2020年）」の基本方針に基づき、オリジナル製品の拡販や成長性を重視した新市場の開拓、海外事業の拡大に取り組まれました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は45,357百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は2,034百万円（前年同期比17.5%減）、経常利益は2,022百万円（前年同期比19.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,320百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

セグメントごとの概況は、次のとおりであります。

当社グループは、「第9次中期経営計画」の事業戦略である「オリジナル製品開発の強化」「海外ビジネス展開の強化」に沿った計数管理及び情報開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、従来「国内販売事業」セグメントに含まれておりました当社海外事業本部と「海外子会社」セグメントを統合し、「海外事業」として報告セグメントの区分を変更しております。

また、各セグメントの前年同期比較につきましては、前年同期の実績を変更後の報告セグメントの区分に組替えた数値と比較しております。

国内販売事業

当セグメントにつきましては、製造装置では、半導体ウェーハの生産用に半導体製造装置の販売が、電子部品の生産用に電子部品製造装置の販売が、それぞれ好調に推移した一方、電子機器及び部品では、中国経済の減速による生産調整の影響を受け、半導体やロボット産業の生産設備向けに「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタやハーネスの販売が、半導体の生産設備向けに「エンベデッドシステム」の産業用PCの販売が、それぞれ減少しました。また、データセンター向けの無停電電源装置（UPS）は、大型案件があった前年同期の実績に至らなかったことから、当セグメントの売上高は30,323百万円（前年同期比5.2%減）となりセグメント利益（営業利益）は643百万円（前年同期比41.4%減）となりました。

国内製造事業

当セグメントにつきましては、製造装置を手掛ける装置事業部門は、半導体ウェーハの生産用に半導体製造装置の販売が、レーザーダイオードや電子部品の生産用に電子部品製造装置の販売が、それぞれ増加しましたが、前年同期の実績と比べ、開発コストが伴う新規製品の売上構成比が増加したことにより利益は前年同期の実績を下回りました。電子機器及び部品を手掛ける部品事業部門は、特殊コネクタの販売が減少したことから売上、利益共に前年同期の実績を下回りました。

この結果、セグメント間の内部売上高を含めた当セグメントの総売上高は7,136百万円（前年同期比2.6%減）となりました。また、外部顧客への売上高は2,465百万円（前年同期比5.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は692百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

海外事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品では、北米及び東アジア市場にて「電子部品&アセンブリ商品」「画像機器・部品」「半導体」の販売が減少しましたが、東アジア市場にて「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」の販売が好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は12,568百万円（前年同期比56.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は746百万円（前年同期比120.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は34,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,274百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が793百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が880百万円、電子記録債権が1,945百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が275百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は41,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,103百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は20,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,848百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が2,222百万円、未払法人税等が493百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は23,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,845百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は17,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ741百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当665百万円の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,320百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.2%となり、前連結会計年度末との比較で3.8ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました「2019年12月期 第1四半期決算短信」に記載の内容から変更はございません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,953,090	8,351,301
受取手形及び売掛金	12,634,263	11,754,043
電子記録債権	7,179,476	5,233,875
商品及び製品	2,828,349	3,622,162
仕掛品	1,881,288	1,944,409
原材料	323,398	372,336
その他	2,655,484	2,902,685
貸倒引当金	△217	△656
流動資産合計	36,455,135	34,180,157
固定資産		
有形固定資産	4,626,251	4,505,566
無形固定資産	115,380	131,504
投資その他の資産		
その他	1,924,673	2,200,335
貸倒引当金	△6,606	△6,606
投資その他の資産合計	1,918,067	2,193,728
固定資産合計	6,659,698	6,830,799
資産合計	43,114,834	41,010,957
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,093,771	6,716,995
電子記録債務	9,939,308	7,716,806
短期借入金	360,336	450,859
1年内返済予定の長期借入金	139,996	139,996
未払法人税等	819,622	326,210
賞与引当金	101,802	530,105
その他の引当金	40,145	67,400
その他	4,637,921	4,336,377
流動負債合計	23,132,904	20,284,750
固定負債		
長期借入金	171,682	66,685
退職給付に係る負債	2,748,484	2,873,872
資産除去債務	47,693	48,268
その他	36,721	18,382
固定負債合計	3,004,581	3,007,209
負債合計	26,137,485	23,291,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,556,016	2,557,309
利益剰余金	12,271,669	12,926,444
自己株式	△52,481	△50,245
株主資本合計	16,975,912	17,634,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362,484	491,941
繰延ヘッジ損益	△1,278	△724
為替換算調整勘定	△75,442	△144,034
退職給付に係る調整累計額	△287,692	△265,768
その他の包括利益累計額合計	△1,930	81,414
非支配株主持分	3,366	3,366
純資産合計	16,977,348	17,718,997
負債純資産合計	43,114,834	41,010,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	42,632,459	45,357,495
売上原価	33,415,461	36,431,740
売上総利益	9,216,998	8,925,755
販売費及び一般管理費	6,751,572	6,891,063
営業利益	2,465,425	2,034,691
営業外収益		
受取利息	1,735	2,314
受取配当金	18,048	14,542
保険配当金	6,194	11,351
補助金収入	59,032	7,937
雑収入	16,969	21,641
営業外収益合計	101,980	57,787
営業外費用		
支払利息	10,217	11,890
手形売却損	1,195	1,031
売上割引	10,961	11,843
為替差損	17,841	36,307
雑損失	7,048	9,255
営業外費用合計	47,265	70,329
経常利益	2,520,140	2,022,149
特別利益		
固定資産売却益	3,531	2,666
投資有価証券売却益	—	14
特別利益合計	3,531	2,680
特別損失		
固定資産除売却損	3,573	4,348
特別損失合計	3,573	4,348
税金等調整前四半期純利益	2,520,099	2,020,482
法人税、住民税及び事業税	941,713	851,923
法人税等調整額	△176,965	△151,523
法人税等合計	764,748	700,399
四半期純利益	1,755,351	1,320,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,755,351	1,320,082

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,755,351	1,320,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,186	129,457
繰延ヘッジ損益	△3,077	554
為替換算調整勘定	△10,697	△68,591
退職給付に係る調整額	36,967	21,924
その他の包括利益合計	△46,993	83,344
四半期包括利益	1,708,357	1,403,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,708,357	1,403,426
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,988,685	2,612,277	8,031,497	42,632,459	—	42,632,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,434,467	4,715,518	144,974	6,294,960	△6,294,960	—
計	33,423,152	7,327,796	8,176,471	48,927,420	△6,294,960	42,632,459
セグメント利益	1,098,204	1,053,984	339,154	2,491,344	△25,918	2,465,425

(注) 1. セグメント利益の調整額△25,918千円には、セグメント間取引消去1,198千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△27,117千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,323,272	2,465,761	12,568,461	45,357,495	—	45,357,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,442,431	4,671,100	200,927	6,314,459	△6,314,459	—
計	31,765,703	7,136,862	12,769,389	51,671,955	△6,314,459	45,357,495
セグメント利益	643,423	692,483	746,751	2,082,657	△47,965	2,034,691

(注) 1. セグメント利益の調整額△47,965千円には、セグメント間取引消去1,424千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△49,390千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「第9次中期経営計画」の事業戦略である「オリジナル製品開発の強化」「海外ビジネス展開の強化」に沿った計数管理及び情報開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、従来「国内販売事業」セグメントに含まれておりました当社海外事業本部と「海外子会社」セグメントを統合し、「海外事業」として報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。